

防災SP養成eラーニングについて

■ 防災SP養成eラーニングの目的

災害時に活動する応援職員等が、現地で従事する業務について標準化された業務手順(Standard Operating Procedure)を短時間で学ぶことにより、地方公共団体の災害対応力の向上を図る。

■ 対象テーマ

防災基本計画を踏まえ、災害時に多くの応援職員等が即戦力として活躍することが期待される下記の業務を当面のテーマとする。

- ・ 避難所開設・運営
- ・ 住家被害認定調査・罹災証明書発行
- ・ 警報避難
- ・ 要配慮者への支援
- ・ 防疫・保健・遺体処理
- ・ 災害廃棄物処理

防災SP養成eラーニングについて

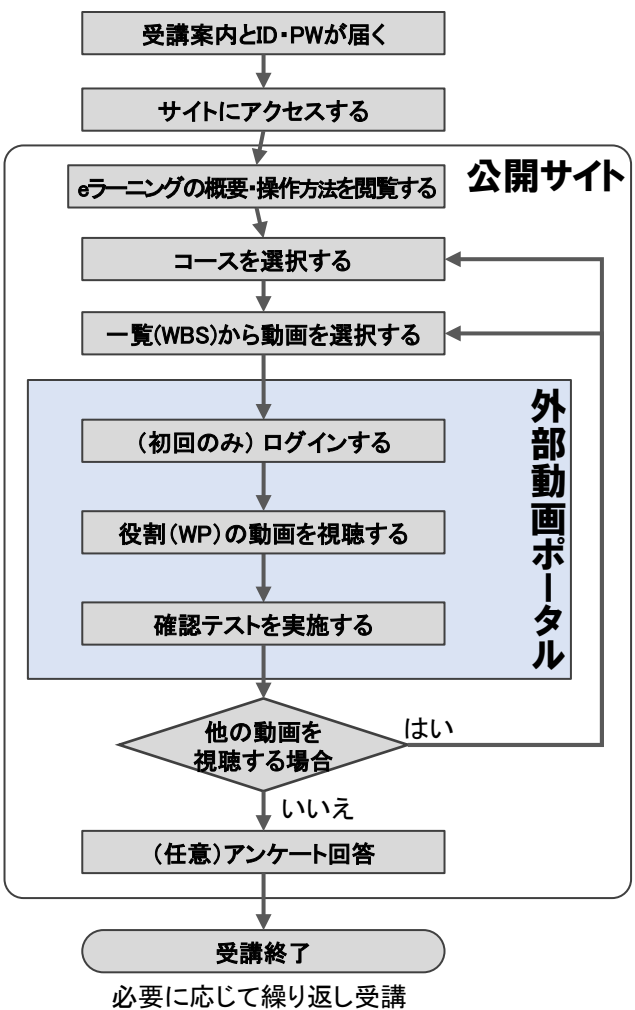
今年度の実施事項のまとめ

1. システムの構築
2. コンテンツの公開開始
 - 2-1. 「避難所開設・運営」公開(9/29)
 - 2-2. 「住家被害認定調査・罹災証明書交付」公開(11/26)
 - 2-3. 「避難情報の判断・伝達」公開 (3/11予定)
3. 「要配慮者への支援」「防疫・遺体処理」のコンテンツを作成開始

1.システムの構築

令和3年度公開版における受講フロー

【アカウント発行: 1団体1アカウント(1アカウントで複数人が受講)】



動画ポータル
ログイン

動画の視聴
確認テストの実施

- ・ 受講状況を追える仕組み(ID/PW)
- ・ WBSに沿った視聴が可能な仕組み

公開サイト(案)

ログイン

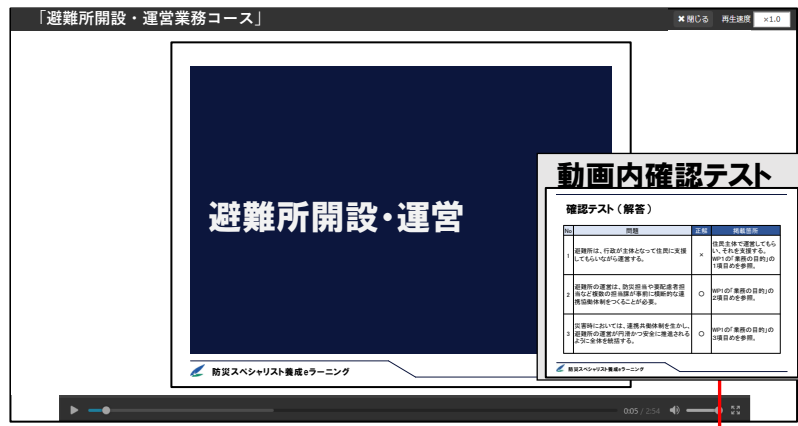
ログインID :

パスワード :

ログイン

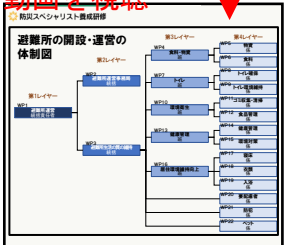
※既にログイン済みの場合は表示されない

動画視聴画面イメージ



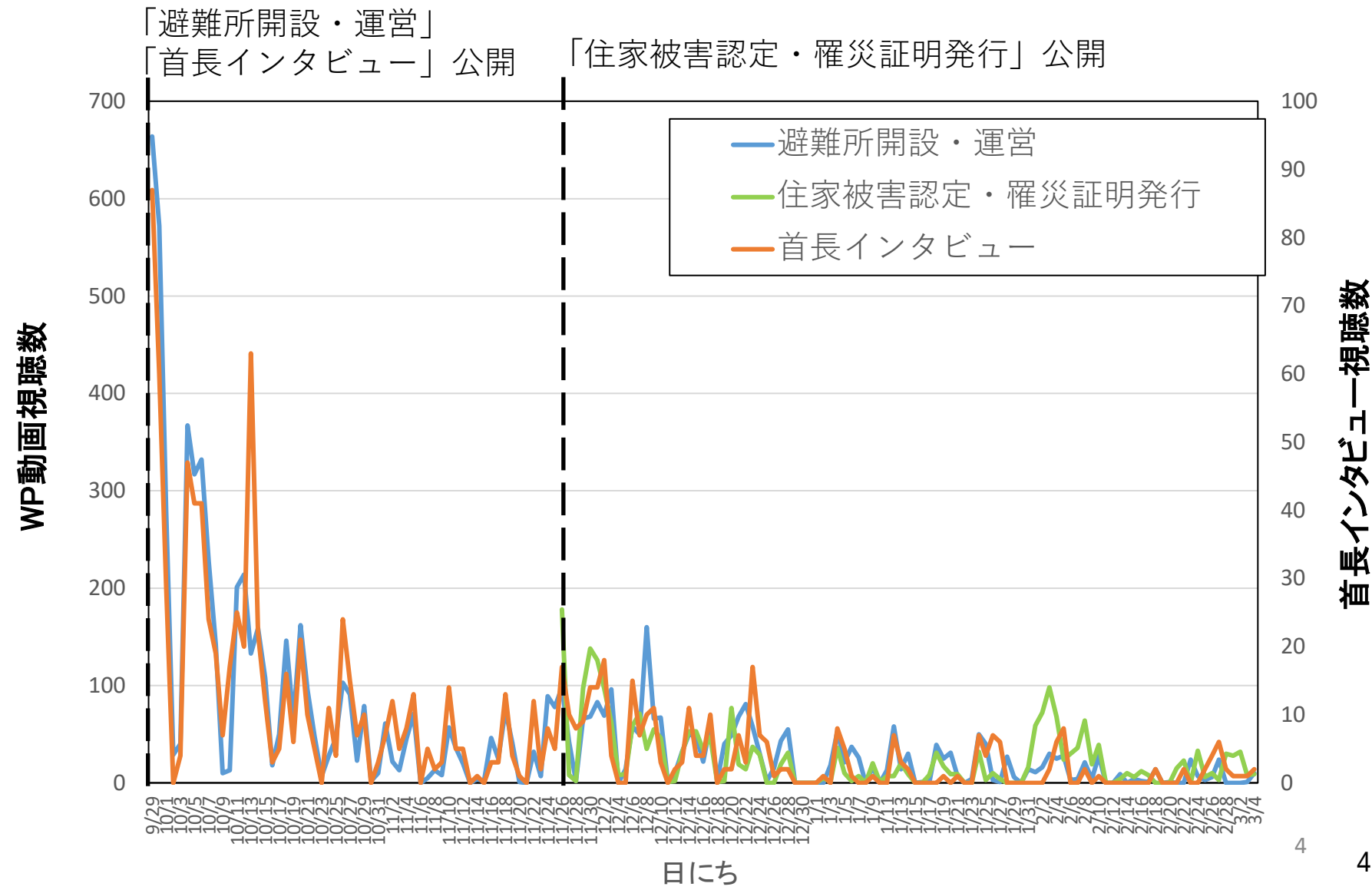
動画終了後、WBSに戻り
任意の動画を視聴

- アクセスログの取得**
- 以下のアクセスログを取得する。
- ・ 視聴者 (ログインIDごと)
 - ・ 視聴時期
 - ・ 視聴回数



2. コンテンツの公開開始

総視聴数（3月4日18時時点）：
避難所開設 7,946回、住家被害 2,451回、首長インタビュー 1,108回



3. 「要配慮者への支援」「防疫・遺体処理」を作成開始

「要配慮者への支援」

要配慮者 支援	小項目	所管	確認すべき既存の文書・マニュアル等
	保健	厚労省	災害時の保健活動推進マニュアル（令和元年度）（日本公衆衛生協会/全国保健師長会）
	医療		日本DMAT活動要領（令和3年8月28日）（厚生労働省DMAT事務局） 保健医療調整本部の設置（平成29年7月）（科発0705第3号 - 厚生労働省）
	福祉	厚労省	災害対応マニュアル第5版（令和3年8月28日）（介護支援員専門協会）
	要配慮者	内閣府	避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針（令和3年5月（内閣府）） 福祉避難所の確保・運営ガイドライン（令和3年5月）（内閣府）

- 「福祉、要配慮者」は、R2年度に鍵屋委員の監修でWBS化
- R3年度は「保険、医療」のWBSを作成、「福祉、要配慮者」に加えて再整理し、WBS原案作成(有明の丘・被災者支援コースコーディネーター・田村委員の監修)

「防疫・遺体処理」

防疫	小項目	所管	確認すべき既存の文書・マニュアル等
	全体	厚労省	災害防疫の実施について(昭和40年5月10日)(衛発第三〇二号) (各都道府県知事・各指定都市市長あて厚生省公衆衛生局長通知)
	感染症	厚労省 内閣府	新型コロナ感染症をふまえた災害対応のポイント（内閣府） 被災地での健康を守るために（平成23年7月）（厚生労働省）
	し尿処理	環境省	大規模災害発生時における災害廃棄物対策行動指針（平成27年11月）(環境省)
	害虫駆除	環境省	東日本大震災に係る災害等廃棄物処理事業における害虫駆除等の取扱いについて（事務連絡平成23年7月）（環境省） 腐敗・悪臭・害虫・飛散防止対策マニュアル（静岡県）
	遺体処理	警察庁 厚労省	災害時における遺体の取扱いに関する共通指針（平成29年8月）(東京都) 家族支援マニュアル（DMORT）

- R3年度は業務の仕分けと整理を行い、WBSの一覧表を作成(有明の丘・被災者支援コースコーディネーター・田村委員の監修)

来年度以降の進め方に関するご提案： 防災SP養成eラーニング検討WG設置について

改善事項を整理し能力評価・改善をしながら、コンテンツの更新と維持管理を継続的に行う仕組み

防災SP養成企画検討会

有明の丘研修コースWG

- 企画検討会と連携し研修内容(コース設計と単元構成)を検討する。
- 平成28年度から全10コースに設置
- メンバー：コーディネーター(検討会委員等)、専門家(検討会委員等)、内閣府防災(地方訓練担当)、委託業者

防災SP養成eラーニング検討WG

- 企画検討会と連携しeラーニングの作成と継続的な見直しを検討する
- 令和4年度初め目途に、6テーマに設置
- メンバー：コーディネーター(検討会委員等)、専門家(検討会委員等)、内閣府防災(地方訓練担当)、委託業者

コンテンツの作成および更新の標準作業フロー

専門家と内閣府防災により業務標準化
・ WBS原案とWP原案の作成

標準作業フローに基づいて
eラーニングの作成と継続
的な見直しを実施する

防災SP養成eラーニング検討WGで
・ WBS原案の妥当性検討・修正
・ WP原案の妥当性検討・修正
・ コンテンツの原案作成

内防や関係各省庁の確認修正

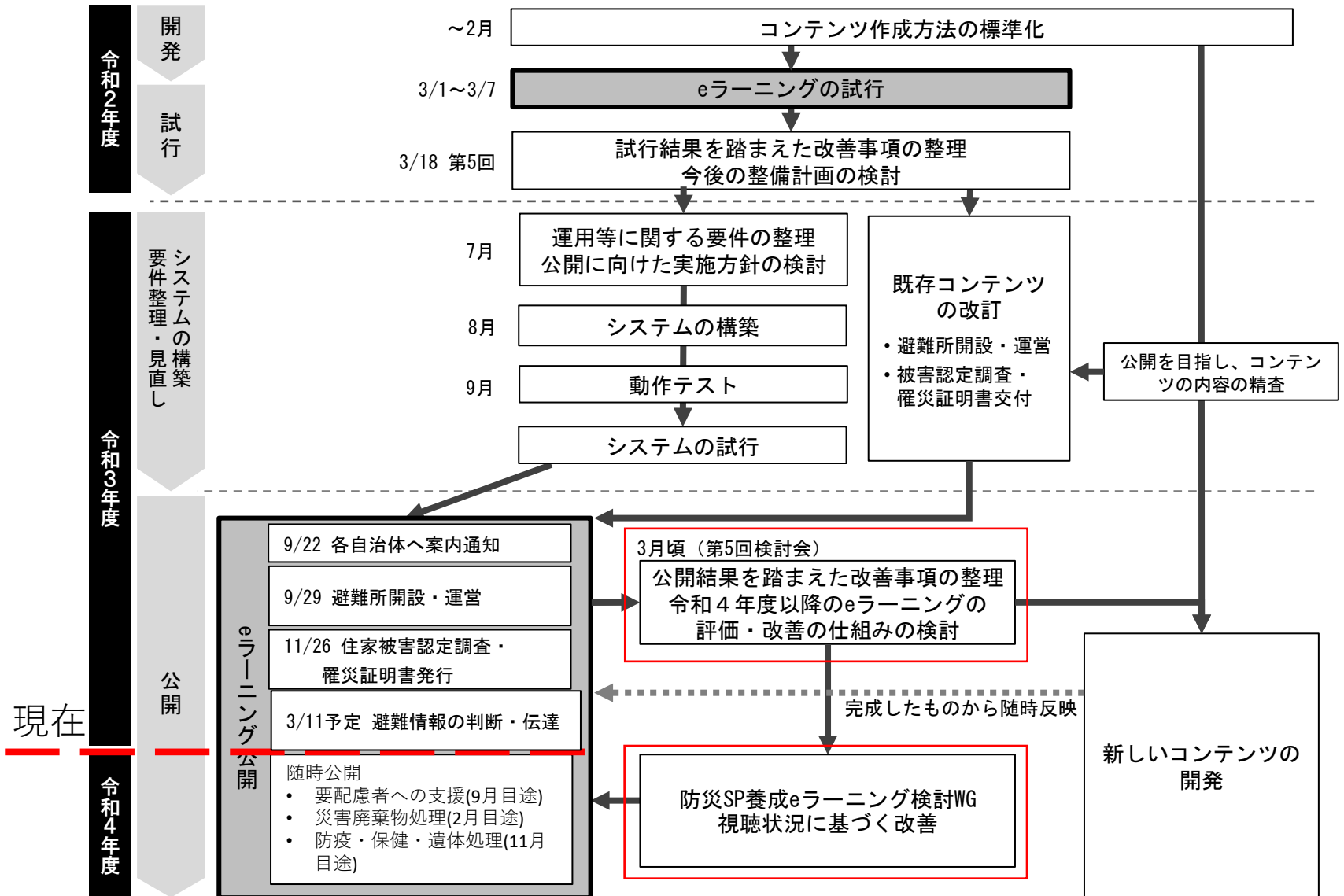
防災SP養成企画検討会で
コンテンツの承認

コンテンツの公開

このフローは新規コンテンツ作成の場合
・ 要配慮者の支援
・ 防疫・遺体処理
・ 災害廃棄物処理

公開済みテーマについては適宜WG開催
・ 避難所開設・運営
・ 住家被害認定調査・罹災証明発行
・ 避難情報の判断と伝達

今後の防災スペシャリスト養成eラーニングの整備計画



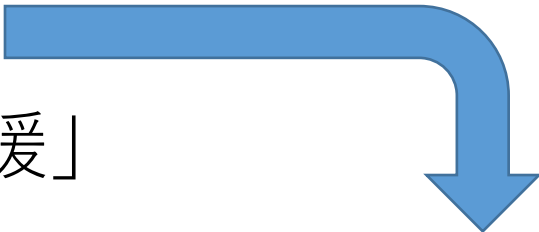
来年度の実施事項(案)

1. コンテンツの公開

1-1. 「要配慮者への支援」

1-2. 「防疫・遺体処理」

1-3. 「災害廃棄物処理」



防災SP養成eラーニング
検討WGの設置

2. 公開済みテーマの維持管理・評価・改善

3. 視聴状況に応じた見直し(R4年度秋頃予定)